

第6学年社会科学学習指導案

日時 平成26年9月16日(火) 5校時 13:30~14:15

対象 第6学年2組 24名

授業者 千代田区立和泉小学校 主任教諭 川嶋 美武

都社研6年部会 研究主題

よりよい社会をつくろうとする子供の育成

～自分と社会とのつながりを実感し、進んでかかわろうとする授業の工夫～

1 小単元名「今に伝わる江戸の文化や学問」

2 小単元の目標

- (1) 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学などについて調べ、江戸を中心とした町人の文化や新しい学問が栄えたことが分かり、現在の我々の生活との関連について関心を深めることができる。
- (2) 地図や年表などの各種資料を効果的に活用し、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学などについて、調べ考えたことを分かりやすく表現することができる。

3 観点別評価規準

観点	評価規準	学習過程の どこで
社会的事象への 関心・意欲・態度	①歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学などに関心をもち、それを意欲的に調べている。 ②江戸時代に誕生した歌舞伎と現在の我々がどのように関わっているのかを考えようとしている。	つかむ ふかめる
社会的な 思考・判断・表現	①歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学などについて、学習問題や予想、学習計画を考えている。 ②江戸を中心とした町人文化や新しい学問が生まれた意味について思考・判断したことを適切に表現している。	つかむ まとめる
観察・資料活用の技能	①歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学などについて地図や年表、その他の資料を活用して必要な情報を集め、読み取っている。 ②調べたことをワークシートやノートなどにまとめている。	調べる
社会的事象についての 知識・理解	①歌舞伎や浮世絵など、江戸を中心とした町人文化が起きたことを理解している。 ②国学や蘭学など、新しい学問が生まれたことを理解している。	調べる

4 小単元について

(1) 学習指導要領との関連

本小単元は学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

- (1) 我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

カ 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について調べ、町人の文化が栄え新しい学問が起こったことが分かること。

本小単元では、「町人」の文化が栄え新しい学問が起こったこととして、近松門左衛門などによって生み出された歌舞伎の作品やそれを当時の人々が見て楽しんでいたり、歌川広重などによって描かれた作品が当時の人々に親しまれていたことを取り上げる。そして、社会の安定によって歌舞伎や浮世絵などの文化が町人の間に広がったことを理解させる。また、学問に関しては文化の学習を踏まえ、この時代に新しい学問が生まれたことや、それが世の中の発展に大きな影響を与えたことを考えさせるようにする。

(2) 教材について

江戸時代の初期に出雲で奇抜な格好で「かぶき踊り」を踊ったのが、歌舞伎の始まりとされている。この「かぶき踊り」が江戸、大阪、京都などの大都市の寺や神社の広場などで演じられるようになり、しだいに「歌舞伎」と呼ばれるようになった。そして、1715年に近松門左衛門の人形浄瑠璃『国性爺合戦』が大ヒットしたり、江戸や大坂などの歌舞伎俳優の指導による一般参加型の歌舞伎である「農村歌舞伎」（地芝居）などが発展したりして日本全国に歌舞伎が定着した。その後、庶民の生活を描いた物語が登場し、セリフは江戸の町で流行していた「俗語」を多く用いることで庶民の娯楽としての地位を確立し、現在に至っている。

このような歴史をもつ歌舞伎はその時代によって「新歌舞伎」「新作歌舞伎」「スーパー歌舞伎」などに分けられる。その時代や演目などによって名前が変わる歌舞伎であるが、庶民の娯楽としての地位はいつの時代も同じである。そのような歌舞伎を中心とした江戸時代の文化を学習することによって、江戸時代に起こった文化は町人が中心になっていたことが理解できると考える。また、学問に関しては、古事記伝やターヘルアナトミアなどの具体的事例を扱い、国学や蘭学などの新しい学問が起きたことが理解できると考える。

(3) 児童について

①社会科における学習経験

歴史学習に興味をもち、自分で気になったことを調べてくる児童もおり、学習意欲は高い。また、以前と比べると学級全体で授業をつくり上げていくという気持ちが強くなり、自分の考えを発言したり、進んで調べ学習に取り組んだりする姿が見られる。

第5学年では、「人々は様々な課題に対して工夫や努力をして解決しようとしている」ことを念頭に置きながら学習を進めてきた。例えば「秋田県でハタハタ漁を行っている人々は、3年間の禁漁だけでなく、水産資源の枯渇を防ぐための様々な取り組みを行っている」「中小工場はある分野に特化したもの作りを行うことで、他の工場にはできない技術を確立し、自分たちが生き残ること以外に、日本の工業を支えている」というものである。また、学習問題に対する答えを出す場面では、それまで学習してきたことをふまえ、100文字程度で学習してきた社会的事象と人々のつながりについて書くことを継続してきた。学習を通して獲得してきた知識などを上手に使いながら人々が様々な取り組みをしながら課題に取り組んできたことを考えられるようになってきている。

一方、社会的事象と自分との関係をとらえることが難しい児童もいる。本小単元では現在も見たり体験したりできる歌舞伎を中心教材として扱うことで、自分がこれからどのようにかかわっていけばよいかを考えようとする意識をもたせたい。

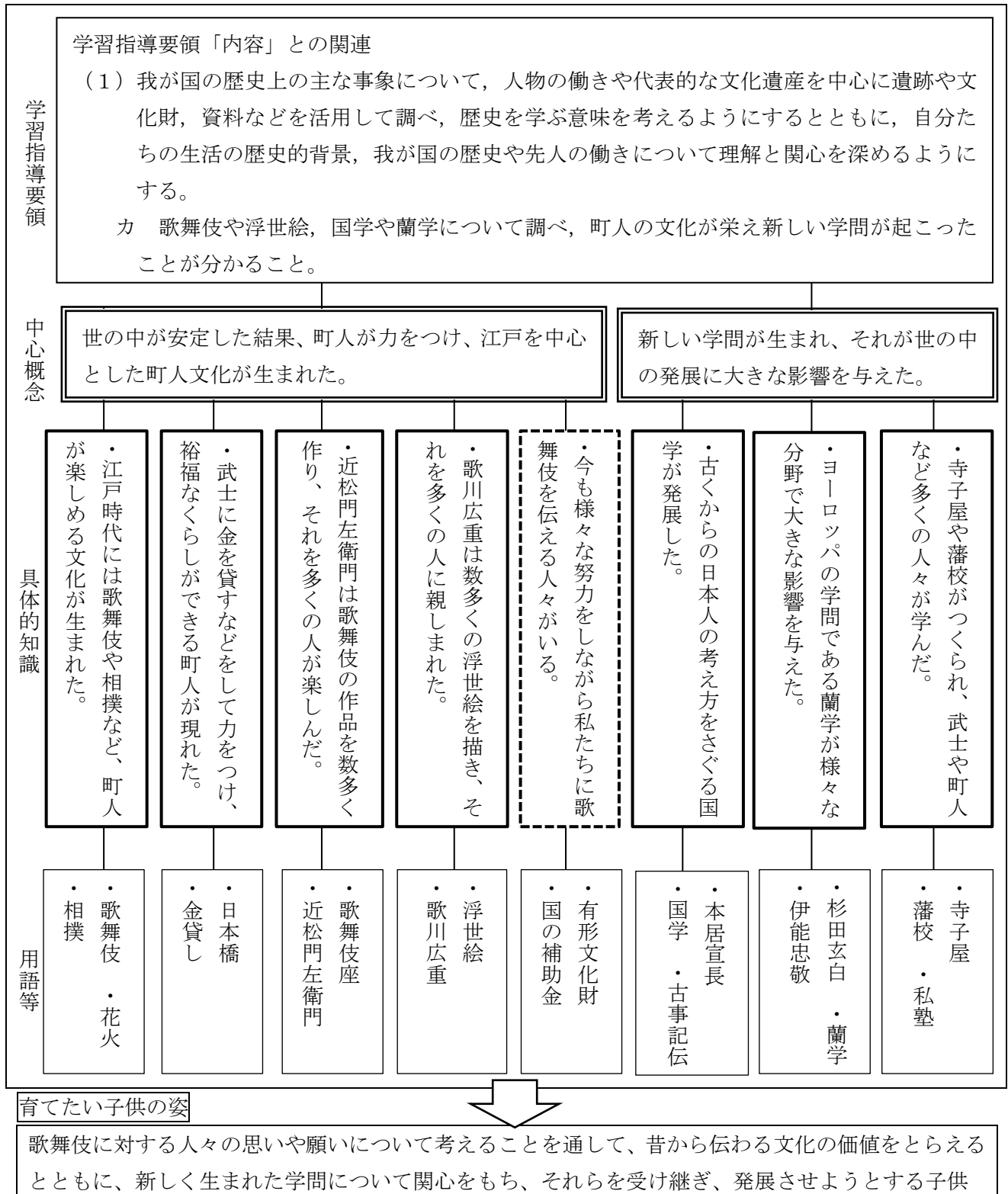
②教材と児童の生活経験との関連

歌舞伎に関しては区が主催する「子供歌舞伎体験」に参加した児童もおり、関心が高い。また、江戸

時代に生まれた花火が行われる花火や大相撲が行われる両国国技館がすぐ近くにあり、江戸時代に誕生した様々な文化を子供たちは比較的容易に体験できる。また、両国駅の近くに江戸東京博物館があり、行ったことがある児童もおり、非常に恵まれた環境にいるといっている。

しかし、恵まれた環境であってもそれに気付かない児童もいる。今回は比較的自分たちと歴史が身近に感じられる教材である。この機会を活かし、歴史と自分との関わりについて考えるきっかけにしたい。

5 知識の構造図と育てたい子供の姿



6 学年の研究主題との関連

都社研6年部会 研究主題

よりよい社会をつくろうとする子供の育成

～自分と社会とのつながりを実感し、進んでかかわろうとする授業の工夫～

本小単元では「自分と社会のつながりを実感し、進んでかかわろうとする指導」を次のようにとらえた。

①「自分と社会のつながりを実感する指導」

歴史単元は過去の人物が行った取り組みや過去に生まれた文化などについて学ぶ。文化は現代でも残っているものが多く、過去に生まれたものであるが、それらを通して自分とのつながりを考えることが比較的容易である。特に江戸時代に生まれた文化は東京都に住んでいる児童にとって、気づかない部分でつながっていることがある。

そこで、本小単元では、「現代に受け継がれている文化を学習し、自分と社会とのつながりを考える」という手立てを取り入れ、昔から伝わる文化の価値をとらえさせる。そして、江戸時代に新しく生まれた学問についても、それが世の中の発展に大きな影響を与えたことを考えさせることから、これらの文化や学問を受け継ぎ、発展させようとする態度を養えるようにしていく。

②自らの生き方を考えていこうとする児童

江戸時代の文化は現代とのつながりが比較的に見つけやすい。テレビでの相撲観戦、毎年行われる隅田川の花火大会を自宅のベランダから見る、などが挙げられる。普段はあまり気にすることのない江戸時代の文化であるが、自分たちの生活との結びつきは意識しないと考えられない。

本小単元では、過去に生まれた文化である歌舞伎を継承するだけでなく、その歌舞伎をさらに発展させていこうとする人々の取り組みを知ることによって、現代の人が受け継いでいる文化に対して、現代に生きている自分たちがどのように関わっていこうとするのか考えようとする意識を育てていく。

これらを受け、本小単元での目指す子供の姿を次のように設定した。

歌舞伎に対する人々の思いや願いについて考えることを通して、昔から伝わる文化の価値をとらえるとともに、新しく生まれた学問について関心をもち、それらを受け継ぎ、発展させようとする子供
この子供の姿を目指し、以下の手立てを考えた。

(1) 教材の工夫

①町人が文化の中心であることが分かる資料教材（「つかむ」：第1時）

本小単元の前に徳川家光が中心となって武士の世の中が安定したことを学んだ。児童の学習感想の中に、きまりを使って世の中を安定させるのはいいが、百姓たちは大変だ。という意見があった。様々なきまりで安定させたがきまりを守らされている身分は厳しい生活を送っていると思っている子もいる。そのようなイメージを覆すように歌舞伎を楽しんでいる町人の様子が分かる資料を提示する。

今までは貴族や武士の文化を学習してきており、その時の政治の中心にいた人々の文化が栄えてきたことが分かるが、江戸時代は町人の文化である。町人が楽しんでいる資料を提示することで文化の中心は町人であることが分かると思った。

②文化に対しての取り組みが分かりやすい教材（「ふかめる」：第5時）

伝統芸能として受け継がれている様々な文化とは異なり、歌舞伎は現代も進化を続けている文化である。常に改良を繰り返していくことで、現代の人々に合った形に変化しながら歌舞伎を楽しむ人々とともに歩んできた。現代も歌舞伎座の改修など、古いものを残すのではなく新しいことにチャレンジし

ていく精神が担い手には脈々と受け継がれている。

今回は「ふかめる」場面で、有形文化財に登録されている銀座にある歌舞伎座の改修工事について触れる。建物の取り壊しに反対する意見もある一方で、改築した後の歌舞伎座で公演されている歌舞伎を楽しむ人々の様子は変わらないことを通して、改修工事以外にも歌舞伎に携わっている人がどのような努力をしているのかを知る場面を設置することで、現代の人々が文化に対してどのような取り組みをしているのかが分かると考えた。

(2) 社会認識を深め、参画意識を生む指導の工夫

①現代と過去との結びつきが分かりやすい場面の設定（「つかむ」～「調べる」：第1時から第2時）

授業の導入で昔の歌舞伎を行っている場面を扱い、歌舞伎は江戸時代に生まれた文化であることに触れる。歌舞伎は現代もほぼ毎日どこかで公演されており、その歌舞伎を体験したことはなくてもテレビの特集で組まれたり、体験講座などが夏休みや休日などに行われたりすることがある。歌舞伎がいつ頃誕生したのかなど、基本的な知識はなくても、実は自分と結びつきがある歌舞伎を扱うことで、過去のものであっても現代と結びついていることが分かると考えた。

②取り組みを行う意味を考える場面の設定（「ふかめる」：第5時目）

「ふかめる」の場面では、「歌舞伎座の人々はどのような思いで歌舞伎を伝えているのだろう」という話題をもとに、現代の人々が歌舞伎を未来につなげるための様々な取り組みを行う意味について理解を深めるようにする。歌舞伎を未来につなげる取り組みを行っている人々に注目することによって、児童は様々な意見をもつ。その意見を話し合うことによって江戸の文化が現代に受け継がれ、それを未来に受け継ぐために自分たちがどのように関わっていけばよいかを意識できると考えた。

(3) 社会認識の深まりや社会参画への思いを見取る評価の工夫

本小単元で目指す子供の姿「歌舞伎に対する人々の思いや願いについて考えることを通して、昔から伝わる文化の価値をとらえるとともに、新しく生まれた学問について関心をもち、それらを受け継ぎ、発展させようとする子供」の育成のために、「まとめる」「ふかめる」段階において、次のように評価規準とつまずきに対する手立てをそれぞれ考えた。

	まとめる段階	ふかめる段階
評価規準	江戸時代の文化は町人が中心であることを考えながら学習問題に対する答えを書いている。	「今に伝わる江戸の文化」についてより広い視野から捉え、自分の考えをもっている。
評価規準を達成した児童の姿(例)	・町人が力をつけ、そこから様々な文化が生まれた。例えば歌舞伎は武士だけでなく、町人が楽しむことができた。	・文化を引き継ぐ人の願いがあるから様々な取り組みを行っていることを知った。他の文化も様々な取り組みをしていると思うから調べてみたい。
つまずきに対する手立て	○江戸時代の文化は町人が中心となって発展したことが理解できていない。 →誰が楽しみ、誰が文化の中心だったのかを考えさせる。	○学習感想が学習した歌舞伎の部分からしか書くことができていない。 →学習を振り返り、江戸時代から伝わった文化についてどう思うかを書くようにする。

7 指導計画（8時間扱い）

学習過程	ねらい	○学習活動 ・学習内容	□教材 ※指導・支援 ◆評価【観点】
つかむ	①歌舞伎などの文化が栄えた様子を調べるための学習問題や学習計画を立てることができる。	○江戸時代の様子を振り返る。 ・厳しいきまりがある。 ・どの身分にもきまりがある。 ○江戸時代の歌舞伎の様子絵を見て気付いたことを話し合う。 ・多くの人を楽しんでいる。 ・武士以外の人もある。 ○学習問題を立てる。	□前時までのノート ※厳しくきまりがあり、あまりいいイメージではないことを押さえる。 □当時の歌舞伎を見ている様子絵 ※誰が歌舞伎を見ているかを予想させるために観客にマスクングを行う。 ※花火や相撲が描かれた絵 ◆【関意態①】（発言）
学習問題：江戸時代の文化はどのようにして栄えたのだろうか			
		○これからの学習について計画を立てる。	◆【思判表①】（ノート）
調べる	②歌舞伎や浮世絵などについて調べ、江戸時代の文化の特徴が分かる。	○浮世絵について調べる。 ・歌舞伎と関係している。 ・今のブロマイドと似ている。 ○歌舞伎や浮世絵について考え、発表し合う。 ・現在にもつながる有名なものもある。 ・歌川広重が浮世絵を描いた。 ・近松門左衛門が多くの脚本を書いた。 ○江戸時代の文化の特徴をつかみ、カードに書く。 ・町人が中心となってたくさんの文化が生まれた。	□歌舞伎の役者を描いた浮世絵 □現在の歌舞伎役者のブロマイドと昔の歌舞伎役者の浮世絵 ※資料を精選し、焦点化して調べ学習を行う。 ◆【観察・技能①】（ノート） ※学習のまとめは、文型を活用して町人が中心となって文化が生まれたことを書かせる。 ◆【知・理①】（ワークシート）
調べる	③「熙代勝覧」の絵図や様々な資料から町人が力をつけてきたことが分かる。	○「熙代勝覧」を見て気付いたことを話し合う。 ・とてもにぎわっている。 ・町人たちの様子がとても明るい。 ○当時の町人の様子を調べ、発表し合う。 ・武士よりも豊かな生活を送っている。 ・武士にお金を貸していた。 ○本時で分かったことをカードに書き、話し合う。	□「熙代勝覧」の絵巻 ※人々の様子は活気があふれていることに着目させる。 □当時の武士と町人の様子分かる図書資料 ◆【観察・技能②】（ノート） ※一部では町人と武士の立場が逆転するほど豊かな生活を送

		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な工夫をしながらお金を蓄え、町人が力をつけてきた。 	<p>っている町人が表れていたことを押さえる。</p> <p>◆【知・理①】(ワークシート)</p>
まとめる	④調べたことをもとにして学習問題に対する考えをまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○今まで学習してきたことを振り返り、印象に残ったことを発表する。 ・町人が豊かになったから文化が生まれた。 ・新しいものを進んで取り入れて歌舞伎は発展してきた。 ○学習問題に対する考えをまとめ、ノートに書く。 ・町人が力をつけ、そこから様々な文化が生まれた。例えば歌舞伎は武士だけでなく、町人が楽しめることができた。 	<p>※今までのノートなどを活用しながら学習を振り返る。</p> <p>※「どのようにして」の部分を明確にして学習問題に対する答えを書く。</p> <p>◆【思判表②】(ノート)</p>
ふかめる	⑤歌舞伎を伝える人々の思いを知り、歌舞伎や江戸の文化について考えようとするができる。 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○歌舞伎座が登録有形文化財から抹消したことを調べる。 ・メリットもあるのに登録を抹消したのはどうしてだろう。 ○歌舞伎座の取り組みを調べる。 ・海外公演を進んで行っている。 ・国から援助を受けていない。 ○様々な取り組みをする意味を考え、話し合う。 ・歌舞伎が好きだからその歌舞伎をずっと残したいと考えていると思う。 ・歌舞伎を多くの人に見てもらいたいという強い思いがあるからだ。 ○学習感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>登録有形文化財の利点をまとめた資料 <input type="checkbox"/>前の歌舞伎座と今の歌舞伎座の外観写真 <input type="checkbox"/>歌舞伎を伝えるために行っている取り組み <p>※調べたことを板書しておき、それを活用しながら話し合いを進める。</p> <p>◆【関意態②】(ノート)</p>
つかむ	⑥2つの資料を比較し、新しい学問について調べるための学習問題を立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○当時日本で使用されていた解剖図とオランダで使用されていた解剖図を比べる。 ○学習問題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>学習問題：どのような新しい学問が生まれたのだろうか</p> </div>	<p>◆【関意態】(発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>ターヘルアナトミアの医学書
調べる	⑦国学や蘭学について調べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○国学や蘭学について調べる。 ○寺子屋や藩校について調べる。 	<p>◆【観察・技能】(ノート)</p> <p>◆【知識・理解】(ノート)</p>
まとめる	⑧調べたことをもとにして学習問題に対する考えをまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返りをする。 ○学習問題に対する答えを出す。 ○答えをお互いに共有し、考えをまとめる。 	<p>※グループに分かれて話し合いを行う。</p> <p>◆【思判表】(ノート)</p>

5 本時の指導について（5時間目／8時間）

(1) ねらい

歌舞伎を伝える人々の思いを知り、歌舞伎や江戸の文化について考えようとする事ができる。

(2) 本時の展開

○学習活動 ・内容	□資料 ※指導の工夫 ◆評価
<p>○登録有形文化財を抹消したことを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メリットもあるのに抹消したのはどうしてなのだろう。 ・歌舞伎座を新しくするのに反対する人もいた。 <p>○前の歌舞伎座と今の歌舞伎座を比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エスカレーターがゆっくりである ・バリアフリー・以前の建物と同じ質感 	<p>□登録有形文化財による利点をまとめた資料</p> <p>□新しい歌舞伎座の外観や内観の写真</p> <p>※歌舞伎座の建て替えに反対する意見があったことを伝える。</p> <p>※今の歌舞伎座は伝統を継承すると同時に、利用者のことを考えた新しい工夫がなされていることに着目させ、学習課題をとらえさせる。</p>
<p>学習課題：歌舞伎座の人々はどのような思いで歌舞伎を伝えているのだろうか</p>	
<p>○学習課題について話し合う。</p>	
<p>○歌舞伎座の取り組みを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国から補助金を受け取っていない。 ・歌舞伎の体験活動を行っている。 ・海外公演などを進んで行っている。 ・テレビで放送している。 <p>○なぜ様々な取り組みを行うのかを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎が好きだからその歌舞伎をずっと残したいと考えていると思う。 ・歌舞伎を多くの人に見てもらいたいという強い思いがあるからだ。 ・歌舞伎を多くの世代の人や海外の人にも知ってもらいたいと考えている。 	<p>□歌舞伎を伝えるために行っている取り組み</p> <p>※文書資料にまとめ、児童が分かりやすく調べられるようにする。</p> <p>※調べたことを板書しておき、それを活用しながら話し合いを進める。</p> <p>※机間指導をしながら何人かの意見を学級全体に伝える。</p>
<p>○学習感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎座の様々な取り組みを知った。何でも自分たちで何とかしていこうとする考えはすごい。今度歌舞伎を見てみたい。 ・文化を引き継ぐ人の願いがあるから様々な取り組みを行っていることを知った。他の文化も様々な取り組みをしていると思うから調べてみたい。 ・歌舞伎は昔のものではなく、今につながっている。そして将来にもつながっていることが分かった。常に新しいことを見つけ、見に来ているお客さんのことを第一に考えて活動していると思った。 	<p>※本時の学習を一度確認してから書かせる。</p> <p>※この時間に学習したのは歌舞伎であるが、今まで学習してきた江戸時代の文化に立ち返って学習感想を書いてもよい。</p> <p>※何人かの児童に学習感想を発表させる。</p> <p>◆学習感想を書く中で、これから自分がどのように関わっていけばよいか考えようとしている。【関意態②】（ノート）</p>

今までに調べて分かったこと

☆有形文化財・・・登録基準に基づき、文化庁で審議を行い、登録を行う。登録が承認されると、
①官報で告示する。 ②文化庁のHPで公開される。

☆有形文化財登録によるメリット（優遇措置）・・・①設計監理(図面を管理する)の半分の補助される。
②相続税の30%が控除
③固定資産税（家屋に対する）50%が控除

☆松竹広報・・・03-5550-1533

☆大谷図書館・・・03-5550-1694 こちらには歌舞伎の台本やパンフレットなど、売られていないものが蔵書されている。東銀座の松竹ビルにある。

☆大谷図書館の内容・・・邦楽体験・海外公演の様子を展示など定期的に展示内容は変更される。

☆歌舞伎人名事典2002・・・出版社：ニチガイアソシエーツ 定価16000円 歌舞伎に関する内容が記載されている。 歌舞伎の鑑賞料金も載っているらしい…。

☆松竹の取り組み・・・国立劇場との連携 一幕だけ鑑賞可能にして料金を安くした。など・・・。